

(様式2)

記入・提出方法

第 号

コメントの追加 [m1]: 発送番号のある場合は記入

令和 年 月 日

コメントの追加 [m2]: 提出日を記入

京都府教育委員会教育長 様

住 所

氏名等

コメントの追加 [m3]: 本件土木工事等を実施しようとする者の名前。法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地。建築確認申請や各種の開発申請等で記入した氏名と同一であること。

埋蔵文化財発掘の〔届出・通知〕について

コメントの追加 [m4]: 国・地方公共団体・公社・公団は通知、その他は届出を○で囲む。

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事のための発掘を実施したいので、文化財

保護法（昭和25年法律第214号）〔第93条第1項・第94条第1項〕の規程により、

コメントの追加 [m5]: 届出に○をした場合は第93条第1項を○で囲む、通知に○をした場合は第94条第1項を○で囲む。

別記1の事項について、関係書類を添付し、別記2のとおり〔届出・通知〕します。

コメントの追加 [m6]: 国・地方公共団体・公社・公団は通知、その他は届出を○で囲む。

別記 1

- 1 土木工事等をしようとする土地の所在及び地番
- 2 土木工事等をしようとする土地の面積
- 3 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
- 4 土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類、員数及び名称並びに現状
- 5 土木工事等の目的、計画及び方法の概要
- 6 当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約によりなされているときは、契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
- 7 当該土木工事等の施工担当責任者の氏名及び住所
- 8 当該土木工事等の着手の予定時期
- 9 当該土木工事等の終了の予定時期
- 10 その他参考となるべき事項

【添付書類】

土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図並びに当該土木工事等の概要を示す書類及び図面（位置図、平面図、立面図、基礎伏図、基礎断面図等）

コメントの追加 [m7]: 別記 2 の書き方を説明しています

コメントの追加 [m8]: 都市計画図（1/2500～1/5000）又は住宅地図

コメントの追加 [m9]: 敷地平面図、建物配置図等の設計図・・・2階以上は基本的に不要です。

別記 2

93 条第 1 項・94 条第 1 項（○で囲むこと）

京都府処理欄	教文第 号の	令和 年 月 日
1 所在地	京都府向日市	
2 面積	工事（建築）計画面積 _____ m ²	敷地面積 _____ m ²
3 土地所有者	氏名等	
4 遺跡の種類	散布地 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城館 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺跡 その他の遺跡（ ）	
遺跡の名称	員数	
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他（ ）	
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他（ ）	
5 工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 港湾 ガム 学校建築 集合住宅 個人住宅 工場 個人住宅兼工場又は店舗 店舗 その他の建物（ ） 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ゴルフ場 観光開発 ガス・電気・水道等 農業基盤整備（農道等含む） その他農業関係（農道等含む） 土砂採取 その他開発（ ）	
工事の概要		
6 工事主体者	氏名； 住所；	
7 施行責任者	氏名； 住所；	
8 着手時期	令和 年 月 日	9 終了時期 令和 年 月 日
10 参考事項		
指導事項	発掘調査 工事立会 慎重工事 その他（ ）	
起 案	決 裁	発 送
		引 継

コメントの追加 [m10]: 土木工事等の土地の所在及び地番

コメントの追加 [m11]: 所在地の遺跡の種類。向日市遺跡地図、京都府遺跡地図を参照記入。不明な場合は、向日市教育委員会文教課文化財係に問い合わせてください。

コメントの追加 [m12]: 所在地の遺跡名称を記入。不明な場合は、向日市教育委員会文教課文化財係に問い合わせてください。

コメントの追加 [m13]: 左記の遺跡数。

コメントの追加 [m14]: 所在地の現状を○で囲む。

コメントの追加 [m15]: 上段の遺跡の時代を○で囲む。不明な場合は、向日市教育委員会文教課文化財係に問い合わせてください。

コメントの追加 [m16]: 本件土木工事等の内容を右の欄から選び○で囲む。

コメントの追加 [m17]: 建築の場合の例…○○造○建、切土○○m、盛土○○m 地階がある場合、地盤改良を実施する場合は必ずその旨を記入。
造成工事の場合の例…切土○○m、盛土○○m 地盤改良を実施する場合は必ずその旨を記入。擁壁を実施する場合はその旨も記入。

コメントの追加 [m18]: 主体となる者（施主）

コメントの追加 [m19]: 工事等の施工担当会社または責任者。未定の場合は「未定」と記入。

コメントの追加 [m20]: 着工期間を記入。建築確認申請や各種の開発申請等で記入した期間と同一にする。

コメントの追加 [m21]: 本件に関し回答書などがあります。また、電話で問い合わせる場合もあります。その場合の連絡先（郵便番号、住所、事務所等の名称、担当者の氏名、電話番号）を記入。

[注意事項] ① 太線内は届出・通知者が記入。

② 遺跡の種類・現状・時代及び工事の目的欄は、該当項目を○で囲み、該当項目の内場合は、（ ）内に記入。



届出書・通知書の記入方法

- をする場所が違うだけで同じ用紙です。
- 個人・法人等の場合は「届出」、「第 93 条第 1 項」に○を付けてください。
- 国・地方公共団体・公社公園の場合は「通知」、「第 94 条第 1 項」に○を付けてください。
- その他は必要な項目欄に記入方法のコメントが付けてありますのでご参照ください。

提出部数と提出先

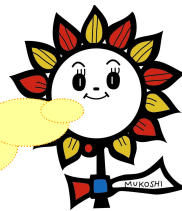
提出部数・・・3部（向日市の場合は3部提出で願います。本書を利用して他の市町村に提出される場合は部数について当該市町村へ事前に確認してください。）

提出先・・・向日市教育委員会文教課文化財係

〒617-0002 向日市寺戸町中野 20 番地

TEL(代表)075-931-1111

(直通)075-874-3860



京都府教育委員会教育長 様

別記 2

位置図等添付図面

届出書・通知書の綴じ方

A4サイズで閉じてください。

添付図面が大きい場合は、A4サイズに折ってください。